

令和5年度（公財）松山観光コンベンション協会

事業報告

I. 事業概要

令和5年は、5月に世界保健機関(WHO)が「国際的な公衆衛生上の緊急事態」を解除したことを受けて、日本でも新型コロナウイルス感染症がインフルエンザ並みの5類に引き下げられ、旅行を自由に楽しめるようになりました。愛媛県では、チェジュ航空によるソウル便の復活、エアプサンによる釜山便の就航、ベトナムや台湾のチャーター便などにより、海外から愛媛・松山を訪れる人も数多く見られました。また、令和6年3月には台北便も復活し、台湾からの誘客も増加しました。

そのような中、当協会としては、松山を訪れた方へのおもてなしや新規誘客事業に効果的に取り組みました。

観光事業では、「おいでんか松山観光客誘致促進事業」の利用促進に努めるとともに、マドンナ大使を積極的に現地へ派遣し、各種観光キャンペーンなど他県等が取り組む事業と連携して観光PRやおもてなし事業に取り組みました。

受入事業では、市内5か所の観光案内所において最新情報を提供するとともに、松山観光ボランティアガイドと連携し、松山城、道後温泉、坂の上の雲ミュージアム周辺まち歩きなどの観光案内を実施し、おもてなしの向上に努めました。

物産事業では、新たな誘客先として東北地方を見据え、愛媛県や宇和島市、仙台市とも連携し、仙台市において観光物産展を開催しました。さらに、積極的にSNSを活用することで効果的に松山の魅力を発信し、認知度の向上と売り上げ増加につなげました。

コンベンション事業では、関係都市と連携しながら「中国四国地区コンベンション誘致懇談会」「7都市情報懇談会」などを通じて積極的に誘致活動を実施するとともに、コロナ禍後の現状を踏まえ、地元ステークホルダーと一体となったMICE推進を図るためMICE推進指針について次年度公表に向けて取り組みました。

国際交流事業では、地元神輿団体及び関係者に協力をいただきながら、「2023 台北温泉まつり」の新北投温泉を主会場に、台北市政府庁舎前、松山慈祐宮前において、道後神輿鉢合わせを実施し、市政府や地元関係団体と交流を図るとともに、台北市長にも神輿に乗っていただくことで、地元メディアにも大きく取り上げられ盛大に観光PRを実施しました。

2月には、「2024 台北ランタンフェスティバル」において、松山をPRするランタンを製作し、ランタンフェスティバル終了後には、同名交流のある松山区の松山慈祐宮前に展示し再利用することで参拝客のみならず、饒河街観光夜市を訪れる大勢の観光客に対して、からくり時計と一体化した効果的なPRに取り組みました。

また、道後温泉に縁のある写真家で映画監督の蜷川実花さんの協力のもと、台北市と松山市の交流を表現した特別なインスタレーション作品を松山文創園區の「男澡堂」に展示することで、松山への誘客を図りました。

さらに、国際線の運航再開や各種チャーター便の運航に伴い、愛媛県や松山市と連携して搭乗客の歓迎やパンフレット、記念品を配布するなどおもてなしを実施しました。

各事業の詳細につきましては、別紙のとおりです。

Ⅱ. 公益目的別事業報告

1. 観光・物産振興事業（公益目的事業1）

決算総額 166,164 千円

（人件費を除く。以下同じ）

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたことで、国内外からの交流人口の拡大が予想されたため、観光案内所や観光ボランティアガイドと連携し、「おもてなしの心」をもった丁寧な窓口対応に努めるよう受入体制を整えるとともに、新たに東北地方をターゲットに仙台市での観光PRや物産展を開催し、松山市の認知向上・販路拡大を図るほか、他市と連携しての誘客イベントを実施するなど、本市の魅力を発信しました。

また、台湾との観光経済交流事業を継続し、インバウンド誘客にも努めました。

（1）おいでんか松山観光客誘致促進事業

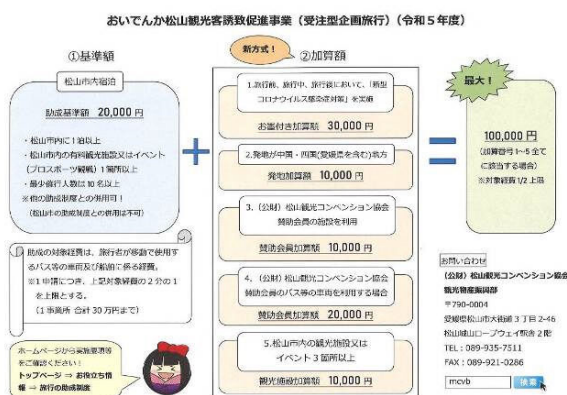
支出決算 1,515 千円

＜受注型企画旅行＞

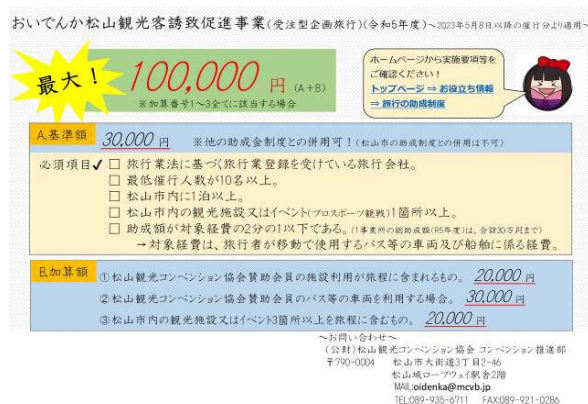
旅行会社が松山市へ観光客を送客する受注型企画旅行に関し、貸切バスや船舶にかかる費用の一部を助成する事業。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことで要項の見直しを行い、加算額を一部増額することで、旅行会社により活用してもらえるように取り組んだ。

・送客実績：助成件数 26 件、送客実績 554 人

※参考：令和4年度送客実績 16 件 530 人



令和5年4月1日～



令和5年5月8日～

(2) 松山マドンナ大使関連事業

支出決算 2,710 千円

2023 年度 松山マドンナ大使関係事業

委嘱式 令和 5 年 4 月 2 日 (日)
派遣件数 40 件 (延べ日数 70 日)

2024 年度 松山マドンナ大使選考会

期 日 令和 5 年 12 月 16 日 (土)
応募者 39 名
場 所 松山市総合コミュニティセンター



(左から外村美琴、松本莉央、好永純堇)



松山春まつり



ねんりんピック愛媛のえひめ2023



べっふ火の海まつり 観光 PR



光のおもてなし in 松山城



松山DAY in 神宮球場観光キャンペーン

(3) 観光 PR 事業 (新聞・テレビ・雑誌等による PR およびイベント)

支出決算 4,549 千円

① 広告宣伝関連

ア. 雑誌、新聞等への広告

イ. 愛媛 FC 及び愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングスの試合会場への看板掲出

ウ. 愛媛マラソン手荷物預かり袋広告制作 (掲載例)



② イベント関連

ア. 大神輿総練 ※終了

内 容 2010年から2019年まで9回の開催(2017年は中止)により、延べ50万人の方々にご来場いただき、「神輿文化の継承と神輿の魅力を広く周知」「地域経済の発展」という当初の目的を達成したこと、また、城山公園内の一部が2026年まで工事のため利用できないことから、終了となった。

イ. 愛媛マラソン観光PRブース

期 日 令和6年2月10日(土)～2月11日(日・祝)

場 所 堀之内公園

内 容 観光ブースを設け、来場者等に対して観光案内を行うとともに、県外ランナーへのおもてなしとして記念品を提供した。



(4) 観光キャンペーン事業

支出決算 114,166 千円

① 松山 DAY in 神宮球場 観光キャンペーン

期 日 令和5年5月24日(水)

場 所 神宮球場

内 容 「東京ヤクルトスワローズ VS 阪神タイガース」

- ・カーベージョンによるPR(試合開始前、2回裏終了、4回裏終了)
- ・のぼりの設置(40本)、横断幕の掲示、観光ポスターの掲示(70枚)
- ・ラッキープレゼントの実施/松山へのペア旅行券 1名
道後温泉バスタオル・入浴剤、まつやま農林水産物ブランド 各10名
- ・観光パンフレットやノベルティの配布(先着1,000名)
- ・球団への記念品贈呈、選手への差し入れ
- ・両軍選手代表への花束および記念品贈呈
- ・伊予銀行ヴェールズ女子ソフトボール部 久保和咲選手による始球式
- ・愛媛県「みきゃん」「こみきゃん」及びキッチンカーによる食のPR
- ・(新規)「野球の聖地 坊っちゃんスタジアム」出張写真展



始球式



記念品贈呈



先着プレゼント



横断幕・のぼりの設置



カラービジョン



写真展

② あいのりキャンペーン

ア. 第39回仙台青葉まつり観光キャンペーン

期 日 令和5年5月20日（土）～5月21日（日）

場 所 仙台市民広場・勾当台公園

内 容 宇和島市が出展するイベントにあいのりで参加し、愛媛県観光PR及び宇和島市の物産販売を実施。2日間で約87万人の来場者があり、愛媛・松山・宇和島を大いにPRできた。



イ. 愛媛・松山市の逸品プレゼント【おもてなし企画】

期 日 令和5年9月15日（金）～令和5年10月9日（月）
場 所 松山三越 1F 愛媛・松山観光インフォメーションセンター
内 容 福島空港「乗り継ぎキャンペーン」を利用して松山に来られた方へ愛媛ならではの逸品をプレゼントした。

③ その他

ア. 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議 観光商品説明会for2024

期 日 令和5年10月30日（月）～10月31日（火）
場 所 TKPガーデンシティ新大阪 6F
内 容 松山圏域に団体旅行を取り戻すための一手として関西圏の約15社約80名が参加する観光商品説明会に参加することで、「おいでんか松山観光誘致促進事業(受注型企画旅行)」の利用促進と、関西圏からの団体客の誘客促進を図った。



④ 台湾・台北市観光キャンペーン

ア. 2023 北投夏のマジックフェスティバル

期 日 令和 5 年 7 月 28 日（金）
場 所 新北投温泉駅前
内 容 「2023 北投夏のマジックフェスティバル」開会式に参加するとともに、11 月に開催の台北温泉まつりほか神輿イベントについて、関係各所と打合せを行った。また、2024 台北ランタンフェスティバル会場の視察を行った。



開会式



台北市長表敬



交通部観光局表敬

イ. 2023 台北温泉まつり

期 日 令和 5 年 11 月 2 日（木）～11 月 5 日（日）
場 所 新北投温泉駅前広場 外
内 容 「2023 台北温泉まつり」へブースを出展し松山の観光PRを実施し、台湾からの誘客促進並びに松山市と台湾・台北市との友好交流拡大を図った。また、台北市政府等の要望により、「台北松山～愛媛松山直行チャーター便就航 10 周年」および来年の「台北市と松山市との友好交流協定締結 10 周年」などを記念した周年事業の一つとして、道後伊佐爾波・湯神社八町会の協力を得て、道後神輿 4 基を派遣し、神輿の鉢合わせを新北投温泉駅前、台北市政府庁舎前、松山慈祐宮前で実施した。台北温泉まつりには延べ 25 万人が来場し、神輿の鉢合わせには延べ 15 万人の観客が訪れ、台湾のメディア等にも大きく取り上げられ、松山のPRを盛に行うことができた。



温泉まつり開会式



総上げ



パレード



鉢合わせ



松山ブース



会場



松山慈祐宮



台北市政府表敬訪問



台北市政府庁舎前

ウ．2024 台北ランタンフェスティバル

期 日 令和6年2月2日（金）～3月3日（日）

場 所 台北市西門町ほか

内 容 「2024 台北ランタンフェスティバル」で松山市をPRするために、ランタンを出展した。会場には、松山観光PRブースを設け、来場者に対して愛媛県や松山市の観光パンフレットを配布し、最終日には早々に配布する観光パンフレットがなくなるほど大好評であった。また、

ピストルダーツを実施し、的に命中した人には記念品として松山オリジナルグッズ等を数量限定で配布したほか、インスタグラムやFacebook等のSNSに当協会のランタンやブースの模様を掲載してくれた人にも記念品を贈呈することで、「松山」の名前を広めることに努めた。

ランタンフェスティバル終了後に、ランタンは松山慈祐宮に移設した。また、道後温泉に縁のある写真家で映画監督の蜷川実花さんにご協力いただき、台北市と松山市の交流を表現した特別なインスタレーション作品を、松山文創園區の「男澡堂」に展示した。



松山のランタン



ピストルダーツ



松山ブース



蜷川実花 with EiM「残照:光影生命」



蜷川さん、台北市長、野志市長

(5) 物産と観光展事業

支出決算 7,441 千円

① えひめ・松山の物産と観光展（仙台）

期 日	令和5年11月16日（木）～11月27日（月） 12日間
場 所	藤崎百貨店（宮城県仙台市青葉区一番町）
内 容	東北エリアから愛媛県への誘客・東北—広島—愛媛を結ぶ広域観光周遊ルートの形成及び愛媛・松山の味や技、観光の魅力を仙台市民はじめ、東北の方々に紹介し、本市への観光客の増大を図った。 具体的には、愛媛の特産品・伝統工芸品の展示販売や実演即売をするほか、観光宣伝や官公庁等への表敬訪問を実施した。 また、まつやま農林水産物ブランド「紅まどんな」の特別販売や愛媛県観光物産協会協力による「えひめ大抽選会」、愛媛×宮城の人気者大集合など老若男女問わず楽しめるイベントを開催し、好評を博した。 物産コーナーには、工芸品8店舗、菓子11店舗、食品19店舗が出店し、えひめ・松山の選りすぐりの特産品を販売した。 さらに、「伊達な姉妹都市・宇和島フェア」や仙台まちテックプロジェクト（仙台市中心部商店街連携企画）『仙台市内で「えひめ」を探せ〜物産展と飲食店スタンプラリー』も同時開催し、松山だけでなく、愛媛県・宇和島市・仙台市と一緒にあって効果的にイベントを盛り上げることができた。



仙台市表敬訪問



仙台観光国際協会訪問



宮城県空港臨空地域課訪問



khb 東日本放送
「突撃！ナマイキ TV」



tbc 東北放送
「ニュース」取材



MMT ミヤギテレビ
「OH！バンデス」取材



観光コーナー



紅まどんな限定販売



えひめ大抽選会



会場の様子



蛇口からミカンジュース



人気者大集合

(6) パンフレット等の作成頒布事業

支出決算 1,144 千円

「瀬戸のまつやま・海ごはん」MAP



(7) 案内所運営事業

支出決算 30,749 千円

- ① 松山城東雲口駅舎 1 階案内所 (委託業務)
- ② 道後観光案内所 (委託業務)
- ③ JR 松山駅松山市観光案内所 (委託業務)
- ④ 松山観光港ターミナル観光案内所 (委託業務)
- ⑤ 愛媛・松山観光インフォメーションセンター (松山三越内) (委託業務)

観光案内所	件数
松山城東雲口駅舎 1 階案内所	6,022 件
道後観光案内所	12,509 件
JR 松山駅松山市観光案内所	20,329 件
松山観光港ターミナル観光案内所	4,270 件
愛媛・松山観光インフォメーションセンター	5,171 件



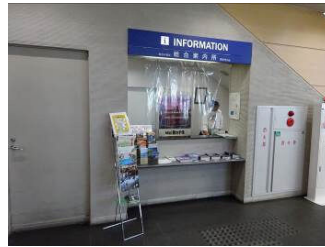
松山城東雲口駅舎 1 階案内所



道後観光案内所



JR 松山駅松山市観光案内所



松山観光港ターミナル観光案内所



愛媛・松山観光インフォメーションセンター

(8) 松山観光ボランティアガイド事業

支出決算 3,890 千円

① ボランティア活動報告

新型コロナウイルス感染症対策として、案内時の検温の実施や氏名記入などに配慮しながら案内を実施した。

●登録者数 107 名



1. 案内コース	道後周辺	松山城
2. 案内日	毎日（年末年始除く）	毎日（年末年始除く）
3. 案内時間	9:00～12:00	9:00～12:00
	13:30～16:30（金土日祝のみ）	13:00～16:00
4. ガイド人数	平日 2名	平日 4名
	土日祝 4名	土日祝 6名
5. 案内件数	1,582件	1,955件
6. 案内人数	4,312人	6,450人

1. 案内コース	坂の上の雲ミュージアム周辺	JR松山駅発 湯・遊コース（休止）
2. 案内日	毎日（坂の上の雲ミュージアム休館日及び年末年始除く）	土日祝（年末年始除く）
3. 案内時間	9:30～12:30	
	13:00～16:00	12:30～16:30
4. ガイド人数	平日 2名	土日祝 松山城 0名
	土日祝 2名	土日祝 道後 0名
5. 案内件数	1,894件	0件
6. 案内人数	4,019人	0人

② ボランティア募集事業

ふるさとふれあい塾 ～松山観光文化コンシェルジェ講座～

主 催 松山商工会議所・松山大学・（一社）愛媛県観光物産協会・松山市
（公財）松山観光コンベンション協会

開講期間 令和5年9月29日（金）～令和6年1月19日（金）（全14回）

場 所 対面・オンライン併用

受講者 一般 73名、松山商業高校生 39名、大学生 127名 計 239名

2. コンベンション事業（公益目的事業2）

決算総額（支出） 24,544 千円

令和5年度は、コロナ禍で中止・縮小されていたコンベンション誘致活動などについて、コロナ禍前の状況に内容に戻し取り組むとともに、松山市の現状を踏まえ MICE 地元誘致懇談会では新たに参加者によるグループワークなどにも取り組みました。

また、今後需要が増すとみられる国際会議などインバウンドへの対応として、大洲市と合同でセールスを行うとともに、国の支援事業にも広島国際観光コンベンションビューローと取り組みました。

（1）誘致促進事業

支出決算 4,650 千円

① 誘致セールス活動

松山市において開催の可能性があるコンベンション主催者を対象に、首都圏で誘致活動を実施した。

加えて、松山市内外の地元主催者への誘致活動を積極的に実施した。

首都圏： 93 件

県 内： 55 件

② 第33回国際MICEエキスポ（IME2024）への参加（出展）

会 期 令和6年2月15日（木）

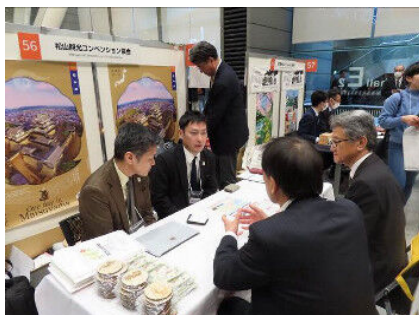
会 場 東京国際フォーラム

主 催 日本政府観光局（JNTO）

（一社）日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）

概 要 今年度は4年ぶりに完全対面式で開催され、15セッションの商談枠が設けられ、コンベンション主催者や海外のインセンティブ旅行受託会社との商談を13件行った。MICE施設や支援制度、ユニークベニューなどの説明をし、愛媛・松山でのMICE開催を具体的にイメージしていただいた。

また、松山で開催が決定した国際会議が、日本政府観光局の「国際会議誘致・開催貢献賞（誘致の部）」に選出され、愛媛大学の先生にも出席いただき、会場内で表彰されるなど、全国から注目を集めた。



松山ブース



表彰式

③ 誘致懇談会の開催

ア. 中国・四国地区コンベンション推進協議会事業

中国・四国地区のコンベンション推進機関 15 団体で構成する協議会であり、相互に意見・情報交換し、事業の円滑な遂行を図る。

- 中国・四国地区コンベンション推進協議会総会の開催

令和 5 年 7 月 13 日（木） 高知市

- 中国・四国地区コンベンション誘致懇談会の開催

開催日 令和 5 年 12 月 7 日（木）

会 場 品川プリンスホテル メインタワー12 階

概 要 セラースタッフ 43 名とバイヤー110 名が参加した。大会を再開する主催者も増えブース以外でも商談を求める主催者もあり、コロナ禍前の盛況ぶりであった。



会場の様子



松山ブース

イ. 7 都市情報交換会事業

全国を 7 ブロックに分け、各ブロックからコンベンションの受入規模が同等であるコンベンション推進団体で構成する会であり、相互に情報交換を実施するとともに、年に 1 度、東京で主催者を招き懇談会を実施。

（参加都市：旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松山、鹿児島）

- ・ 7 都市情報交換会（7 回実施）

開催日及び場所	①令和 5 年 5 月 22 日（月）	オンライン
	②令和 5 年 7 月 19 日（水）	滋賀
	③令和 5 年 9 月 25 日（月）	オンライン
	④令和 5 年 11 月 9 日（木）	東京
	⑤令和 6 年 1 月 15 日（月）	東京
	⑥令和 6 年 3 月 21 日（木）	岐阜



情報交換会議（岐阜）



岐阜視察

・ 7 都市情報懇談会の開催

開催日	令和 6 年 1 月 16 日（火）
会 場	東京會館 7 階「ロイヤル」（東京都千代田区丸之内）
主 催	7 都市情報交換会
概 要	コンベンション主催者 21 団体 31 名と 7 都市情報交換会の関係者 26 名の合計 57 名が一堂に会し、都市の特徴やコンベンション支援に関するプレゼンを行うとともに、7 都市でのコンベンション開催を積極的に働きかける等、盛会のうちに終了した。



会場の様子



プレゼンの様子

ウ. MICE 地元誘致懇談会の開催

開催日	令和 6 年 1 月 22 日（月）
会 場	ANA クラウンプラザホテル松山
概 要	第 1 部 講演会では、(株)プリプレス・センター代表取締役の藤田 靖氏から「主催者に選ばれるために地元ステークホルダーができること」を主題に講演していただいた。その後、新たな試みとして参加者によるワークショップを開催し、地元関係事業者間で松山における MICE の推進について議論した。第 2 部ではコロナ禍で 4 年ぶりとなる懇談会&ミニ商談会を実施し、賛助会員と大会主催者の情報交換ビジネスマッチングの場を創出した。



第1部会場の様子



ワークショップ



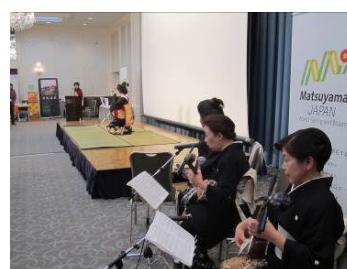
第2部会場の様子



水軍太鼓



サンドアート



華ひめ楼

④ 海外からの誘致促進事業

ア. JNTO インセンティブツアー商談会に出展

会 期	令和5年12月6日(水)
会 場	リージェントホテル台北
主 催	日本政府観光局(JNTO)
内 容	台湾の旅行会社8社と商談を行った。台湾～松山の直行便が再開されることもあり、商談時間中は途切れることなくブースに訪問いただき、松山の宿泊施設や観光地、体験サービスなどを紹介した。



セミナー



商談会

イ. 松山秋まつりに伴う台北市温泉発展協会等招聘

日 時 令和5年10月5日（木）～10月7日（土）

内 容 令和5年10月5日～10月7日に開催された「松山秋まつり」に合わせて、台北市温泉発展協会等関係者を招聘し、知事表敬や松山市内観光地視察を行うとともに道後神輿鉢合わせを見学していただいた。同時に、台湾で人気のテレビ番組「食尚玩家」を招聘し、道後の鉢合わせのほか松山市内の観光地や飲食店取材し台湾で放映していただき、松山の観光宣伝を行った。



市長との懇親会



知事表敬



撮影風景

(2) 開催支援事業

支出決算 19,062 千円

① 開催助成金制度

愛媛県内へのコンベンション誘致を推進し、コンベンション振興を図るため、県内で開催されるコンベンションに対し延べ宿泊人数に応じて助成金を交付する事業。

交付件数	32 件（令和 4 年度：26 件）
交付総額	14,382,000 円（令和 4 年度：10,275,000 円）

② 歓迎用看板等の掲出

国際会議および全国規模（原則として参加者 1,000 人以上が条件）のコンベンションを対象に、松山空港ビルに看板・パネルを掲出表示。歓迎の意を表することで、参加者に対し松山のイメージアップを図り、来松のリピート効果を上げるために実施する事業。

掲出実績 7 件（令和 4 年度：2 件）

＜掲出イメージ＞



③ 支援グッズの作成

- ・「ようおいでたなもし'23 ～'24」（愛媛・松山観光ガイド）の発行
アフターコンベンション用ブックとして、食べ飲み歩き MAP と文化観光施設等割引入場券を一緒にした形で発行。

発行部数 40,000 部

- ・観光パンフレットやようおいでたなもし等の支援をした大会等

支援件数 93 件（令和 4 年度：72 件）

資料配付数 78,975 部（令和 4 年度：53,868 部）



④ サポートスタッフ等の派遣

- ・コンベンションボランティア 0 件
- ・マドンナ大使 4 件（延べ7名派遣）

コンベンション名	派遣人数
日本造園組合連合会青年部第 43 回総会・全国大会	2 名
第 35 回全国ろうあ高齢者大会	1 名
第 101 回全旅連全国大会 in 愛媛	3 名
第 26 回ビルメンテナンス青年部全国大会 in 愛媛	1 名

- ・郷土芸能・地元コンテンツ 7 件

コンベンション名	派遣内容
日本造園組合連合会青年部第 43 回総会・全国大会	水軍太鼓
日本感情心理学会第 31 回大会	句会ライブ
第 35 回全国ろうあ高齢者大会	継ぎ獅子
2023 年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会（第 56 回）	愛媛県酒造組合
資源・素材 2023（松山）	水軍太鼓
第 71 回レオロジー討論会	水軍太鼓
サイバーセキュリティシンポジウム道後（SEC 道後）2024	柑橘カッティング（実演）



水軍太鼓



愛媛県酒造組合



継ぎ獅子

⑤ その他

- ・大会主催者向けにコンベンション施設ガイドを配布し、「松山 MICE サポート企業名簿」を作成した。

（3）調査・研究事業

支出決算 832 千円

① 経済波及効果調査

- ・令和 4 年度コンベンション統計の作成

令和 4 年度に県内で開催されたコンベンションの件数・人数また経済波及効果の調査結果については、コロナ禍の影響もあり情報として提供するに達していないため、次年度の統計内容も踏まえた分析を行い情報提供を行う。

② コンベンション調査

ア. 2023 年度コンベンションカレンダーの発行

2023 年度に県内で開催されるコンベンションを記載したもので、賛助会員ならびに大学関係者等に配布した。(発行部数：1,600 部)

イ. アンケート調査の実施

コンベンション参加者を対象に、参加地区・利用交通機関・訪問観光地・宿泊ほか参加経費等について調査を行い、令和 4 年度コンベンション統計の基礎資料とした。

ウ. コンベンションビューロー部会

JCCB 会員 (7 業種 119 会員) のうち、コンベンションビューローの会員 (70 団体) で組織する部会において、コンベンションの振興を図る上での課題等を検討、協議する会。(会員数は令和 6 年 3 月 31 日現在)

開催日 令和 5 年 7 月 20 日 (木) ～7 月 21 日 (金)

会 場 琵琶湖ホテル (大津市)

エ. 2023 年度 JCCB 総会

開催日 令和 5 年 6 月 26 日 (月)

会 場 東京・オンライン併用

オ. 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会

四国地区のコンベンション推進 5 団体 (高松、徳島、鳴門、高知、松山) で構成し、「四国」として共同誘致や事業等を推進していくための会

< 第 1 回 >

開催日 令和 5 年 8 月 8 日 (火)

会 場 徳島市

< 第 2 回 >

開催日 令和 6 年 3 月 8 日 (金)

会 場 高知市

③ 管理システムの運用

コンベンションの誘致・支援活動の状況や、キーパーソンに関する情報等を入力し、効率的な誘致・支援につなげるために、営業記録をデータ化し管理している。

Ⅲ. 収益事業報告

決算総額（収入）5,991 千円
（支出）1,288 千円

1. 広告料収入事業

収入決算 1,074 千円

支出決算 429 千円

（１）松山城ロープウェイ駅舎３階壁面広告

広告期間 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
広告掲載業者 10 業者



（２）物産陳列ケース広告

展示期間 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
展示業者 20 業者



（松山城ロープウェイ駅舎３階）



（ＪＲ松山駅）

（３）松山城ロープウェイ・ゴンドラ内広告

広告期間 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
広告掲載業者 8 業者



(4) (公財) 松山観光コンベンション協会ホームページバナー広告

広告期間 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

広告掲載業者 5 業者

2. 手数料収入事業

収入決算 3,638 千円

支出決算 851 千円

(1) 案内所での記念グッズ販売による手数料

佐川印刷(株)絵はがき・一筆箋・メモ帳販売	販売数	70 冊
佐川印刷(株)自動販売機 (ストラップ・ブックマーカー) 販売	販売数	827 個
愛媛新聞サービスセンター書籍販売	販売数	5 冊
(株)エス・ピー・シー書籍販売	販売数	1 冊
(株)エーシー松山オリジナルグッズ販売	販売数	556 個
(株)ムラヤマ城カード販売	販売数	1,809 枚
(有)前川正樹デザイン事務所ペーパー・オーナメント・しおり・クリアファイル販売	販売数	201 枚
松山はいく	販売数	13 枚
(株)マキシム愛媛自動販売機 (ガチャポン) 販売	販売数	3,857 個

(2) 自動販売機での飲料等販売による手数料

設置業者	大塚製薬(株)、四国乳業(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株) ダイドービバレッジサービス(株)、サントリービバレッジソリューション(株) (株)母恵夢
売上数	30,856 個

(3) 記念メダル販売による手数料

① 松山城メダル

メダル等販売数	10,969 個
刻印機利用数	5,654 回

② 道後温泉メダル

メダル等販売数	1,072 個
刻印機利用数	626 回

3. 販売収入事業

収入決算 1,279 千円

支出決算 8 千円

(1) 名刺台紙販売

販売数 43 個

(2) 図書販売

販売数 159 冊

(3) ハンドタオル販売

道後温泉足湯タオル販売数 697 枚

松山城ハンドタオル販売数 15 枚

(4) オリジナルグッズ販売

記念バッジ販売数 5 個

紙袋販売数 850 枚

WAONカード 8 枚

マスクケース販売 11 枚

IV. その他管理事業等

決算総額 8,763 千円

1. 機関紙作成

年2回各4,000部を発行し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布した。

2. ホームページ等SNS運営業務

〔参考〕ユーザー訪問(ページビュー)数 498,595件(うち、267,504件はスマホサイト)

3. 賛助会員事業

新規加入 18件
会 員 380件(令和6年3月31日現在)

4. 会議開催

理事会・評議員会の開催を随時行うほか、各専門委員会(企画開発委員会・誘客促進委員会・観光物産振興委員会)を必要に応じ適宜開催した。

(1) 理事会

- | | | | |
|------|---|---------------------------|----------------------------|
| ①期 | 日 | 令和5年5月9日(火) | ※ 決議の省略 |
| 議 | 題 | 第1号議案 | 令和3年度決算の修正について |
| | | 第2号議案 | 令和5年度第2回評議員会(決議の省略)の開催について |
| ②期 | 日 | 令和5年5月23日(火) | |
| 場 | 所 | ホテルマイステイズ松山 | 2階 フェスタ |
| 議 | 題 | 第1号議案 | 令和4年度事業報告及び決算報告について |
| | | 第2号議案 | 令和5年度第3回評議員会の招集の決定について |
| 報告事項 | | 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告について | |
| ③期 | 日 | 令和5年6月7日(水) | |
| 場 | 所 | 東京第一ホテル松山 | 2階 コスモシルバー |
| 議 | 題 | 第1号議案 | 会長(代表理事)の選定について |
| | | 第2号議案 | 相談役の選任について |

- | | | |
|------|---|--|
| ④期 | 日 | 令和5年6月30日(金) |
| 場 | 所 | 松山城ロープウェイ駅舎2階 会議室 |
| 議 | 題 | 第1号議案 公益財団法人松山観光コンベンション協会
令和5年度補正予算について |
| ⑤期 | 日 | 令和5年12月14日(木) ※ 決議の省略 |
| 議 | 題 | 第1号議案 公益財団法人松山観光コンベンション協会
給与規程の一部改正について |
| ⑥期 | 日 | 令和6年3月28日(木) |
| 場 | 所 | ANA クラウンプラザホテル松山 本館4階 ローズルーム |
| 議 | 題 | 第1号議案 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
第2号議案 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて
第3号議案 令和6年度第1回評議員会(決議の省略)の実施について |
| 報告事項 | | 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告について |

(2) 評議員会

(内容については別紙資料1参照)

- | | | |
|----|---|--|
| ①期 | 日 | 令和5年4月1日(土) ※ 決議の省略 |
| 議 | 題 | 第1号議案 理事の選任について
第2号議案 評議員の選任について |
| ②期 | 日 | 令和5年5月11日(木) ※ 決議の省略 |
| 議 | 題 | 第1号議案 令和3年度決算の修正について |
| ③期 | 日 | 令和5年6月7日(水) |
| 場 | 所 | 東京第一ホテル松山 2階 コスモシルバー |
| 議 | 題 | 第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告について
第2号議案 理事の選任について |

(3) 各専門委員会

① 誘客促進委員会

- | | | | |
|---|---|--------------|---------|
| 期 | 日 | 令和5年7月24日(月) | 10:30～ |
| 場 | 所 | 松山市立子規記念博物館 | 1階 視聴覚室 |

② 観光物産振興委員会

- | | | | |
|---|---|--------------|---------|
| 期 | 日 | 令和5年7月24日(月) | 14:00～ |
| 場 | 所 | 松山市立子規記念博物館 | 1階 視聴覚室 |

③ 企画開発委員会

- | | | | |
|---|---|--------------|---------|
| 期 | 日 | 令和5年7月26日(水) | 10:00～ |
| 場 | 所 | 松山市立子規記念博物館 | 1階 視聴覚室 |

5. 共催・協賛・後援事業

(1) 松山春まつり 第50回野球拳全国大会

期 日 令和5年4月1日(土)
主 催 春まつり野球拳全国大会実行委員会

(2) 第19回伊予節全国大会

期 日 令和5年4月1日(土)
主 催 伊予節全国大会実行委員会

(3) 第51回JABA四国大会

期 日 令和5年4月6日(木)～4月10日(月)
主 催 JABA 四国地区連盟・毎日新聞社

(4) 第16回子規記念杯西日本女子硬式野球フェスタ

期 日 令和5年5月5日(金)～5月7日(日)
主 催 中四国女子硬式野球連盟(ルビーリーグ)

(5) プロテイン・アイランド・松山2023

期 日 令和5年7月5日(水)～7月7日(金) 蛋白質科学会年会出展
令和5年9月13日(水) 第21回松山国際学術シンポジウム
令和5年10月11日(水)～10月13日(金) Biojapan2023 出展 など
主 催 同実行委員会

(6) 第71回松山港まつり・三津浜花火大会

期 日 令和5年8月5日(土)
主 催 松山港まつり振興会

(7) 第58回松山野球拳おどり

期 日 令和5年8月10日(木)～8月12日(土)
主 催 松山野球拳おどり実行委員会

(8) 第35回トライアスロン中島大会

期 日 令和5年8月26日(土)～8月27日(日)
主 催 松山市・松山市教育委員会・トライアスロン中島大会実行委員会

(9) 松山を楽しもうキャンペーン2023

期 日 令和5年9月～11月
主 催 同実行委員会

(10) 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」 写生会および絵画展

期 日 写生会：令和5年10月21日（土）
絵画展：令和5年12月8日（金）～12月12日（火）
主 催 松山ユネスコ協会

(11) 『坂の上の雲』のまちを歩こう 24 松山ふるさとウォーク in 久谷

期 日 令和5年11月4日（土）
主 催 松山市・南海放送（株）

(12) 第22回坊っちゃんランランラン大会

期 日 令和5年12月2日（土）
主 催 坊っちゃんランランラン大会実行委員会

(13) 愛媛調理製菓専門学校「料理作品展 2024」

期 日 令和6年2月10日（土）
主 催 学校法人愛媛学園

(14) 第61回愛媛マラソン

期 日 令和6年2月11日（日）
主 催 愛媛マラソン実行委員会

(15) 坊っちゃんカップ第14回道後温泉卓球大会

期 日 令和6年2月19日（月）～2月21日（水）
主 催 （公財）松山市文化・スポーツ振興財団

貸借対照表

令和6年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,006,320	45,148,564	△ 15,142,244
未 収 金	658,775	14,563,851	△ 13,905,076
過 払 金 返 金	0	0	0
棚 卸 資 産	1,322,280	1,480,308	△ 158,028
流動資産合計	31,987,375	61,192,723	△ 29,205,348
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
定 期 預 金	321,126,670	321,152,670	△ 26,000
投 資 有 価 証 券	199,873,330	199,847,330	26,000
基本財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(2) 特定資産			0
退 職 給 与 引 当 預 金	13,045,616	10,693,330	2,352,286
特定資産合計	13,045,616	10,693,330	2,352,286
(3) その他固定資産			0
電 話 加 入 権	149,968	149,968	0
什 器 備 品	1	1	0
その他固定資産合計	149,969	149,969	0
固定資産合計	534,195,585	531,843,299	2,352,286
資産合計	566,182,960	593,036,022	△ 26,853,062
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
賞 与 引 当 金	5,315,276	4,750,250	565,026
未 払 金	8,692,501	21,093,995	△ 12,401,494
仮 受 金	7,972,594	19,404,432	△ 11,431,838
流動負債合計	21,980,371	45,248,677	△ 23,268,306
2. 固定負債			0
退 職 給 付 引 当 金	33,211,038	30,456,740	2,754,298
固定負債合計	33,211,038	30,456,740	2,754,298
負債合計	55,191,409	75,705,417	△ 20,514,008
III 正味財産の部			0
1. 基金	0	0	0
基金	0	0	0
2. 指定正味財産	521,000,000	521,000,000	0
指定正味財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(うち基本財産への充当分)	(521,000,000)	(521,000,000)	(521,000,000)
3. 一般正味財産			0
(1)代替基金	0	0	0
(2)その他一般正味財産	△ 10,008,449	△ 3,669,395	△ 6,339,054
一般正味財産合計	△ 10,008,449	△ 3,669,395	△ 6,339,054
正味財産合計	510,991,551	517,330,605	△ 6,339,054
負債及び正味財産合計	566,182,960	593,036,022	△ 26,853,062

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	361,751	361,729	22
基本財産利息収入	361,751	361,729	22
特定資産運用益	0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0
受取会費	10,190,000	10,170,000	20,000
賛助会員会費収入	10,190,000	10,170,000	20,000
事業収益	8,385,925	5,756,580	2,629,345
広告料収入	1,074,296	984,600	89,696
手数料収入	3,638,119	2,723,440	914,679
販売収入	2,075,057	1,078,163	996,894
観光PR事業収入	0	0	0
物産と観光展手数料収入	1,598,453	970,377	628,076
受取補助金等	248,625,406	173,569,568	75,055,838
市補助金等収入	248,625,406	173,569,568	75,055,838
県補助金等収入	0	0	0
受取負担金	3,920,000	1,000,000	2,920,000
負担金収入	3,920,000	1,000,000	2,920,000
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金収入	0	0	0
雑収益	491,815	177,947	313,868
受取利息	1,028	880	148
雑収入	220,640	0	220,640
雇用保険料預り金	270,147	177,067	93,080
経常収益計	271,974,897	191,035,824	80,939,073
(2) 経常費用			0
事業費	235,777,926	144,358,198	91,419,728
報酬	636,421	610,247	26,174
給料手当	27,602,696	28,217,335	△ 614,639
賞与引当繰入金	2,736,240	2,839,469	△ 103,229
退職給付費用	1,205,137	1,564,711	△ 359,574
福利厚生費	8,368,615	8,848,223	△ 479,608
臨時雇賃金	0	2,253,777	△ 2,253,777
会議費	3,096,587	640,815	2,455,772
旅費交通費	59,849,083	8,670,678	51,178,405
通信運搬費	18,159,343	4,064,572	14,094,771
什器備品減価償却費	0	1	△ 1
手数料	17,270	70,990	△ 53,720

消耗品費	7,885,690	5,133,068	2,752,622
印刷製本費	3,625,820	4,089,800	△ 463,980
諸謝金	9,974,227	5,558,485	4,415,742
報償費	600,000	600,000	0
委託費	64,551,465	50,604,125	13,947,340
負担金支出	1,824,700	1,531,550	293,150
広告宣伝費	4,130,150	3,980,803	149,347
賃借料	2,188,927	2,384,694	△ 195,767
修繕費	2,000,000	0	2,000,000
保険料	167,300	126,100	41,200
燃料費	0	0	0
光熱水料費	589,900	366,528	223,372
助成金支出	15,897,000	11,265,000	4,632,000
租税公課	0	102,700	△ 102,700
雑費	211,497	300,250	△ 88,753
期首棚卸高	1,480,308	1,889,563	△ 409,255
期末棚卸高	△ 1,020,450	△ 1,355,286	334,836
管理費	42,535,745	36,376,347	6,159,398
役員報酬	5,603,622	5,087,223	516,399
給料手当	19,503,368	14,797,395	4,705,973
福利厚生費	4,537,765	3,752,899	784,866
臨時雇賃金	0	0	0
賞与引当繰入金	2,579,036	1,910,781	668,255
退職給付費用	1,549,161	1,310,910	238,251
会議費	265,115	429,128	△ 164,013
旅費交通費	0	0	0
交際費	16,500	59,500	△ 43,000
通信運搬費	958,167	853,628	104,539
消耗品費	1,086,810	1,068,847	17,963
印刷製本費	538,670	534,820	3,850
諸謝金	200,000	200,000	0
委託費	918,720	1,638,780	△ 720,060
負担金支出	715,880	734,130	△ 18,250
賃借料	2,799,720	2,665,746	133,974
修繕費	11,550	0	11,550
保険料	192,630	204,290	△ 11,660
燃料費	106,797	108,488	△ 1,691
光熱水料費	837,784	921,832	△ 84,048
租税公課	114,450	97,950	16,500
減価償却費	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0
雑費(予備費含まない)	0	0	0
経常費用計	278,313,671	180,734,545	97,579,126

評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,338,774	10,301,279	△ 16,640,053
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,338,774	10,301,279	△ 16,640,053
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
一般正味財産修正額	0	0	0
退職給付費用			
棚卸資産廃棄損	280	378	△ 98
経常外費用計	280	378	△ 98
当期経常外増減額	△ 280	△ 378	98
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,339,054	10,300,901	△ 16,639,955
一般正味財産期首残高	△ 3,669,395	△ 13,970,296	10,300,901
一般正味財産期末残高	△ 10,008,449	△ 3,669,395	△ 6,339,054
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
指定正味財産修正額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	521,000,000	521,000,000	0
指定正味財産期末残高	521,000,000	521,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	510,991,551	517,330,605	△ 6,339,054

令和5年度正味財産増減計算書(内訳表)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	361,751	361,751	0	0	0	0	0	361,751
基本財産利息収入			361,751	361,751			0			361,751
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用収入				0			0			0
受取会費	0	0	10,190,000	10,190,000	0	0	0	0	0	10,190,000
賛助会員会費収入			10,190,000	10,190,000			0	0		10,190,000
事業収益	1,598,453	796,000	0	2,394,453	5,991,472	0	5,991,472	0	0	8,385,925
広告料収入				0	1,074,296		1,074,296			1,074,296
手数料収入				0	3,638,119		3,638,119			3,638,119
販売収入		796,000		796,000	1,279,057		1,279,057			2,075,057
観光PR事業収入	0			0			0			0
物産と観光展手数料収入	1,598,453			1,598,453			0			1,598,453
受取補助金等	183,663,354	22,421,700	0	206,085,054	0	0	0	42,540,352	0	248,625,406
市補助金等収入	183,663,354	22,421,700		206,085,054			0	42,540,352		248,625,406
県補助金等収入	0			0			0			0
受取負担金	2,920,000	0	1,000,000	3,920,000	0	0	0	0	0	3,920,000
負担金収入	2,920,000		1,000,000	3,920,000			0			3,920,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金収入				0			0			0
雑収益	220,640	0	1,028	221,668	0	0	0	270,147	0	491,815
受取利息			1,028	1,028			0			1,028
雑収入	220,640			220,640			0			220,640
雇用保険料預り金				0			0	270,147		270,147
経常収益計	188,402,447	23,217,700	11,552,779	223,172,926	5,991,472	0	5,991,472	42,810,499	0	271,974,897
(2) 経常費用										
事業費	188,443,006	38,119,376	4,694,592	231,256,974	4,520,952	0	4,520,952		0	235,777,926
報酬	0	0	636,421	636,421	0		0			636,421
給料手当	16,220,692	9,657,953	1,724,051	27,602,696	0		0			27,602,696
賞与引当金繰入額	1,312,055	1,029,786	394,399	2,736,240			0			2,736,240
退職給付費用	929,380	275,757	0	1,205,137	0		0			1,205,137
福利厚生費	3,817,180	2,611,714	1,939,721	8,368,615	0		0			8,368,615
臨時雇賃金	0	0	0	0	0		0			0
会議費	2,123,106	973,481	0	3,096,587	0		0			3,096,587
旅費交通費	57,769,353	2,079,730	0	59,849,083	0		0			59,849,083
通信運搬費	18,041,174	118,169	0	18,159,343	0		0			18,159,343
什器備品減価償却費	0	0	0	0	0		0			0
手数料	0			0	17,270		17,270			17,270
消耗品費	5,734,668	2,073,732	0	7,808,400	77,290		77,290			7,885,690
印刷製本費	1,164,020	2,461,800	0	3,625,820	0		0			3,625,820
諸謝金	9,526,253	447,974	0	9,974,227	0		0			9,974,227
報償費	600,000	0	0	600,000	0		0			600,000
委託費	61,315,983	462,000	0	61,777,983	2,773,482		2,773,482			64,551,465
負担金支出	436,700	1,388,000	0	1,824,700	0		0			1,824,700
広告宣伝費	4,064,150	66,000	0	4,130,150	0		0			4,130,150
賃借料	1,515,525	70,250	0	1,585,775	603,152		603,152			2,188,927
修繕費	2,000,000	0	0	2,000,000	0		0			2,000,000
保険料	167,300	0	0	167,300	0		0			167,300
燃料費	0	0	0	0	0		0			0
光熱水料費	0	0	0	0	589,900		589,900			589,900
助成金支出	1,515,000	14,382,000	0	15,897,000	0		0			15,897,000
租税公課	0	0	0	0	0		0			0
雑費	190,467	21,030	0	211,497	0		0			211,497
期首棚卸高				0	1,480,308		1,480,308			1,480,308
期末棚卸高				0	△ 1,020,450		△ 1,020,450			△ 1,020,450

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
管理費								42,535,745	0	42,535,745
役員報酬								5,603,622		5,603,622
給料手当								19,503,368		19,503,368
福利厚生費								4,537,765		4,537,765
臨時雇賃金								0		0
賞与引当金繰入額								2,579,036		2,579,036
退職給付費用								1,549,161		1,549,161
会議費								265,115		265,115
旅費交通費								0		0
交際費								16,500		16,500
通信運搬費								958,167		958,167
消耗品費								1,086,810		1,086,810
印刷製本費								538,670		538,670
諸謝金								200,000		200,000
委託費								918,720		918,720
負担金支出								715,880		715,880
賃借料								2,799,720		2,799,720
修繕費								11,550		11,550
保険料								192,630		192,630
燃料費								106,797		106,797
光熱水料費								837,784		837,784
租税公課								114,450		114,450
減価償却費								0		0
有価証券運用損								0		0
雑費(予備費含まない)								0		0
経常費用計	188,443,006	38,119,376	4,694,592	231,256,974	4,520,952	0	4,520,952	42,535,745	0	278,313,671
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 40,559	△ 14,901,676	6,858,187	△ 8,084,048	1,470,520	0	1,470,520	274,754	0	△ 6,338,774
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 40,559	△ 14,901,676	6,858,187	△ 8,084,048	1,470,520	0	1,470,520	274,754	0	△ 6,338,774
2. 経常外増減の部							0			
(1) 経常外収益							0			
過年度損益修正益				0			0			0
雑収益				0			0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							0			
退職給付費用				0			0			0
棚卸資産廃棄損				0	280					0
経常外費用計	0	0	0	0	280	0	280		0	280
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 280	0	△ 280	0	0	△ 280
他会計振替額			327,317	327,317		△ 327,317	△ 327,317			0
当期一般正味財産増減額	△ 40,559	△ 14,901,676	7,185,504	△ 7,756,731	1,470,240	△ 327,317	1,142,923	274,754	0	△ 6,339,054
一般正味財産期首残高	△ 102,273,036	△ 60,149,367	113,331,848	△ 49,090,555	8,195,304	△ 1,757,451	6,437,853	38,983,307		△ 3,669,395
一般正味財産期末残高	△ 102,313,595	△ 75,051,043	120,517,352	△ 56,847,286	9,665,544	△ 2,084,768	7,580,776	39,258,061	0	△ 10,008,449
II 指定正味財産増減の部							0			
受取補助金等				0			0			0
一般正味財産への振替額				0			0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			521,000,000	521,000,000			0			521,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	521,000,000	521,000,000	0	0	0	0	0	521,000,000
III 正味財産期末残高	△ 102,313,595	△ 75,051,043	641,517,352	464,152,714	9,665,544	△ 2,084,768	7,580,776	39,258,061	0	510,991,551

財産目録

令和6年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額		
(流動資産)	現金 預金	手元保管 普通預金 普通(伊予銀行) 普通(愛媛銀行) 普通(愛媛信用金庫) 普通(県信漁) 普通(県信連) 普通(預り金) 普通(書籍) 普通(グッズ精算) 普通(メダル) 普通(物産)	つり銭準備金として 運転資金として	240,400		
				29,765,920		
				8,310,201		
				11,070,023		
				3,439,566		
				757,864		
				1,674,974		
				473,402		
				71,900		
				214,902		
				2,154,635		
				1,598,453		
未収金 会費収入 販売収入 手数料収入	658,775					
	30,000					
	477,269					
	151,506					
棚卸資産				1,322,280		
流動資産合計				31,987,375		
(固定資産) 基本財産	基財・預金債権 譲渡性預金(伊予銀行) 譲渡性預金(伊予銀行) 譲渡性預金(伊予銀行) 定期(伊予銀行) 定期(愛媛銀行) 譲渡性預金(愛媛銀行) 譲渡性預金(愛媛信用金庫) 定期(愛媛信用金庫) 定期(県信漁) 投資有価証券 有価証券(地方債) 有価証券(地方債)	第438回大阪府公募公債 第470回大阪府公募公債	公益目的保有財産であり、 運用益を公益目的事業の 財源として使用している。	521,000,000		
				321,126,670		
				10,000,000		
				45,000,000		
				150,000,000		
				112,000		
				14,670		
				30,000,000		
				70,000,000		
				6,000,000		
				10,000,000		
				199,873,330		
				99,888,000		
				99,985,330		
				特定資産	退職給与引当預金 伊予銀行(普通)	13,045,616
						13,045,616
						149,969
				その他固定資産	電話加入権	公益目的事業に必要な収益 事業等その他の業務又は活 動の用に供する財産であり、 管理運営の用に供している。
	什器備品		公益目的事業に必要な収益 事業等その他の業務又は活 動の用に供する財産であり、 収益事業の用に供している。	1		
	収益目的保有財産	松山城ローウェイ駅舎3階	物産陳列ケース	1		
固定資産合計				534,195,585		
資産合計				566,182,960		
(流動負債)	賞与引当金 未払金 未払金 仮受金		公益目的事業等に供する支払 松山市へ返還すべき市補助金	5,315,276		
				16,665,095		
				8,692,501		
				7,972,594		
流動負債合計				21,980,371		
(固定負債)	退職給付引当金			33,211,038		
固定負債合計				33,211,038		
負債合計				55,191,409		
正味財産				510,991,551		

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定率法の直接法により減価償却を行っている。(償却率:0.25)

(4) リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース

取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金……支給見込額のうち、当期に帰属する額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	321,152,670	0	26,000	321,126,670
投資有価証券	199,847,330	26,000	0	199,873,330
小 計	521,000,000	26,000	26,000	521,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	10,693,330	2,754,298	402,012	13,045,616
小 計	10,693,330	2,754,298	402,012	13,045,616
合 計	531,693,330	2,780,298	428,012	534,045,616

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	321,126,670	(321,126,670)	(0)	(ー)
投資有価証券	199,873,330	(199,873,330)	(0)	(ー)
小 計	521,000,000	(521,000,000)	(0)	(ー)
特定資産				
退職給付引当資産	13,045,616	0	0	(13,045,616)
小 計	13,045,616	0	0	(13,045,616)
合 計	534,045,616	(521,000,000)	0	(13,045,616)

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

什器備品	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	149,968	0	0	149,968
什器備品	547,050	0	547,049	1
合 計	697,018	0	547,049	149,969

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
第438回大阪府公募公債(10年)	99,888,000	98,960,000	△ 928,000
第470回大阪府公募公債(10年)	99,985,330	96,430,000	△ 3,555,330
合 計	199,873,330	195,390,000	△ 4,483,330

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営補助金	松山市	0	248,625,406	248,625,406	0	一般正味財産

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,750,250	5,315,276	4,750,250	0	5,315,276
退職給付引当金	30,456,740	2,754,298	0	0	33,211,038

令和 6 年 5 月 10 日

公益財団法人松山観光コンベンション協会

会長 大塚 岩 男 殿

監事

矢野 莊六



監事

田窪 計一



監 査 報 告 書

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上